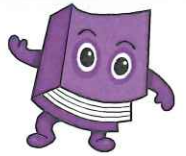


# としよしつ 図書室だより

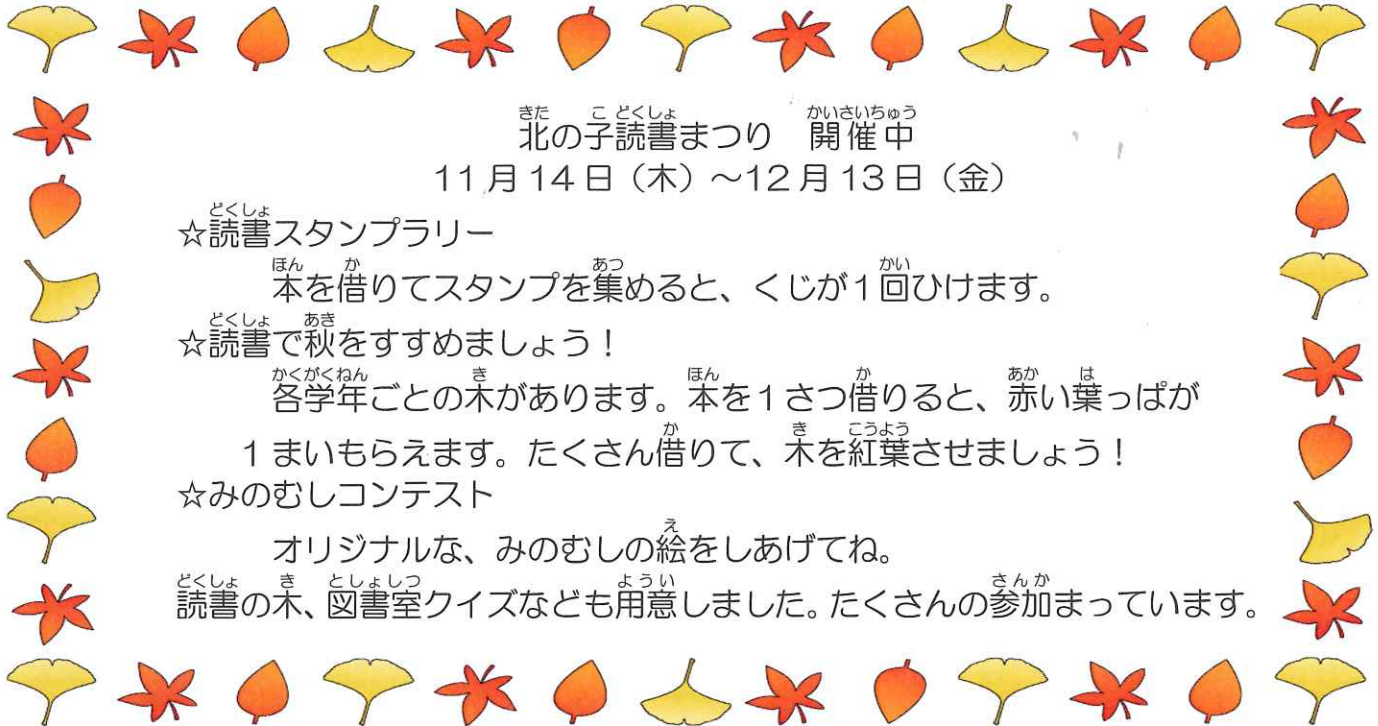
あずま北図書館



令和6年11月号



学校の後期は行事が多いですね。休み時間も係活動や運動、勉強と忙しく過ごす時間が多くなっていますが、やっと気候も読書の秋にふさわしくなってきました。あいた時間を使って、読書を楽しんでほしいです。



北の子読書まつり 開催中

11月14日(木)～12月13日(金)

☆読書スタンプラリー

本を借りてスタンプを集めると、くじが1回ひけます。

☆読書で秋をすすめましょう！

各学年ごとの木があります。本を1さつ借りると、赤い葉っぱが

1まいもらえます。たくさん借りて、木を紅葉させましょう！

☆みのむしコンテスト

オリジナルな、みのむしの絵をしあげてね。

読書の木、図書室クイズなども用意しました。たくさんの方参加まっています。

なぜ「読書の秋」なのかな？「読書の秋」の由来は？

秋はすすしくなると、外で遊ぶのも楽しいけど家の中で過ごすにも良い季節です。

暑すぎず寒すぎず、ちょうどよい気温が読書に集中するのに最適です。

さらに、秋の夕ぐれ時には、読書のための自然な「ライト」があります。太陽がしずむと、部屋に優しい光が差し込みます。この光が、本のページを照らしてくれます。

このように、読書しやすい秋の季節を「読書の秋」と呼ぶようになりました。

読書の秋の由来は、夏目漱石(小説家)が1908年に発表した小説「三四郎」で古代中国・唐時代の韓愈が読んだ「灯火親しむべし」(秋になり長くなった夜にあかりをつけて読書に夢中になる)という詩を引用したことがきっかけとされている。

また、日本では戦後まもない1947年に読書の力で平和を築く目的で「読書週間」が開始されました。(小学生、Com参照)



最近夕ぐれが早くなってきました。お家にいる時間も長くなってきませんか？

本を読む時間も作ってほしいです。